

# 沈埋トンネル7号函回航及び係留について

那覇港沈埋トンネル7号函(最終函)の回航及び係留作業予定について、下記のとおりお知らせします。

なお、那覇港への入港予定日は、気象・海象条件により変更する場合がありますのでご理解願います。

また、関係者以外の現場内への立ち入りはできませんので、あらかじめ、ご了承ください。

## 記

作業予定 (回航) 平成20年 5月 5日(月曜日)  
那覇港入港:午前7:00  
仮係留完了:午前10:00

(曳航・係留) 平成20年 5月 7日(水曜日)  
進水開始:午前7:00  
曳航開始:午前8:00  
係留完了:午後12:30

※記載の作業日程については予定です

作業場所 (沈埋函仮係留場所) 浦添第一防波堤(港内側)  
(係留場所) 浦添市伊奈武瀬地先



## 那覇港沈埋トンネル沈埋函(7号函)回航について

沖縄総合事務局  
那覇港湾・空港整備事務所

### 1. 那覇港沈埋トンネル整備目的

那覇港は、離島沖縄の海の玄関として県内で消費・生産される生活物資が経由される流通港湾として重要な役割を果たしております。

那覇港沈埋トンネルは、那覇港と背後地域との円滑な輸送体系を構築するために計画され、那覇ふ頭地区の港口部を横断することで、空港とのアクセス強化、慢性的な渋滞が続く幹線道路の緩和対策としての役割を果たすものです。(図-1)



図-1 沈埋函位置図



図-2 那覇港沈埋トンネル平面図



図-3 那覇港沈埋トンネル完成予想図(イメージ)

## 2. 那覇港沈埋トンネルの特徴

那覇港沈埋トンネルは、今までに例を見ない画期的な工法及び構造を採用しています。

- ① 可とう継ぎ手構造として、鋼製ペローズを採用。(世界初)
- ② フルサンドイッチ構造の沈埋函としては初の海上コンクリート打設。(世界初)  
尚このコンクリートは、高流動コンクリートを採用しています。
- ③ 最終継ぎ手構造として、従来の構造を発展させた沈埋函くさび接合方式(キーエレメント函)を採用。(世界初)

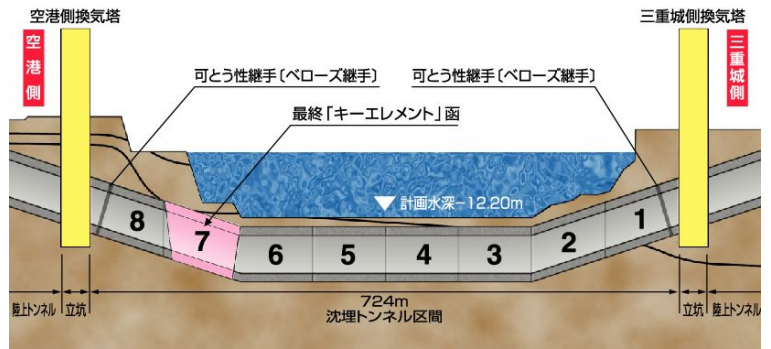


図-4 沈埋トンネル縦断面

## 3. 沈埋トンネル諸元

沈埋トンネル延長	沈埋トンネル部	724.0m
車線数	片側3車線往復	6車線
設計速度		80km/h
ルート航路水深		40フィート (DL-12.2m)
[沈埋函7号函] 大きさ	L 92.17m (函上側) × B 36.72m × H 8.7m	× L 87.50m (函底側)
[沈埋函7号函] 鋼殻重量	約2,900トン	
[沈埋函7号函] 完成後重量	約30,000トン	

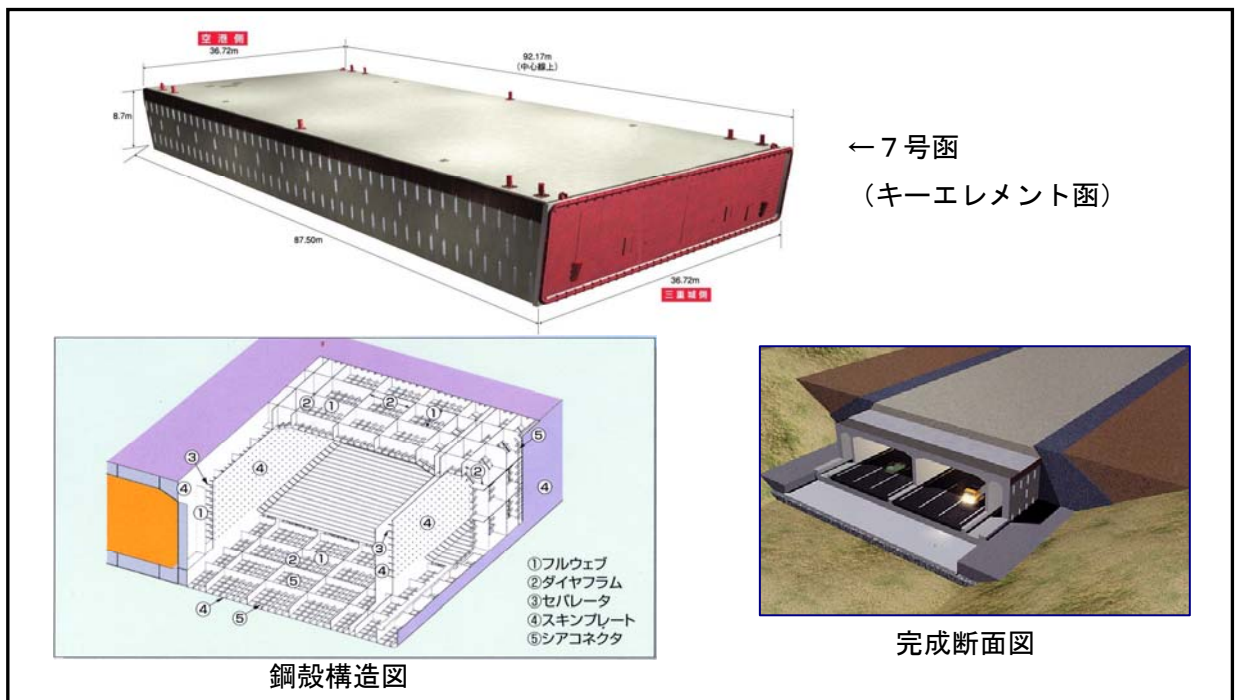


図-5 沈埋函(7号函)構造図

#### 4. 沈埋函7号函の施工工程

主要工種		施工時期	工事内容
鋼殻・バルクヘッド製作		平成19年3月～平成20年1月	鋼殻本体の製作 (大阪府堺市築港新町) 【写真】
回航工	台船積込	平成20年4月24日	鋼殻の台船積込[フォトン方式] (大阪府堺市築港新町)
	回航	平成20年4月30日～5月5日(予定)	鋼殻回航(堺～沖縄) 【図-6】 5月5日那覇港入港
	進水・係留	平成20年5月7日(予定)	鋼殻進水～係留(那覇港内) 【図-7】
本体コンクリート工		平成20年5月～平成20年9月(予定)	海上コンクリート打設 【図-8】
仮置工		平成20年9月(予定)	沈埋函の着座仮置 【図-9】
製作完了		平成20年9月	沈埋函(第7号函)製作の完成
沈設工		平成21年4～5月(予定)	

#### 鋼殻・バルクヘッド製作状況 【写真】

・日立造船鉄構(株)堺工場内 2号ドック(大阪府堺市築港新町)



鋼殻組立て状況(平成19年8月)



鋼殻組立て完了状況(平成20年1月)

## 回航工 台船積込状況（フロートオン方式）

- ・ 平成 20 年 4 月 24 日
- ・ 日立造船下部堺工場内 2号ドック（大阪府堺市築港新町）
  - 1) 2号ドックゲート前面にて半潜水台船を沈下させます。
  - 2) ドック内に注水しドックゲートを開放します。
  - 3) ドック側面に設置されたキャリッジレールにて鋼殻を引き出します。
  - 4) 半潜水台船への引込み作業は、台船のウインチと起重機船のウインチを用いて行います。



ドック内注水状況



出渠状況

### 鋼殻積込状況

- ・ 半潜水台船を喫水 11m まで沈下させ引き込みを待ちます。
- ・ 鋼殻を引き込み、位置決め終了後に半潜水台船の浮上を開始します。
- ・ 積み込み完了後、固縛岸壁へシフトし回航に備えます。



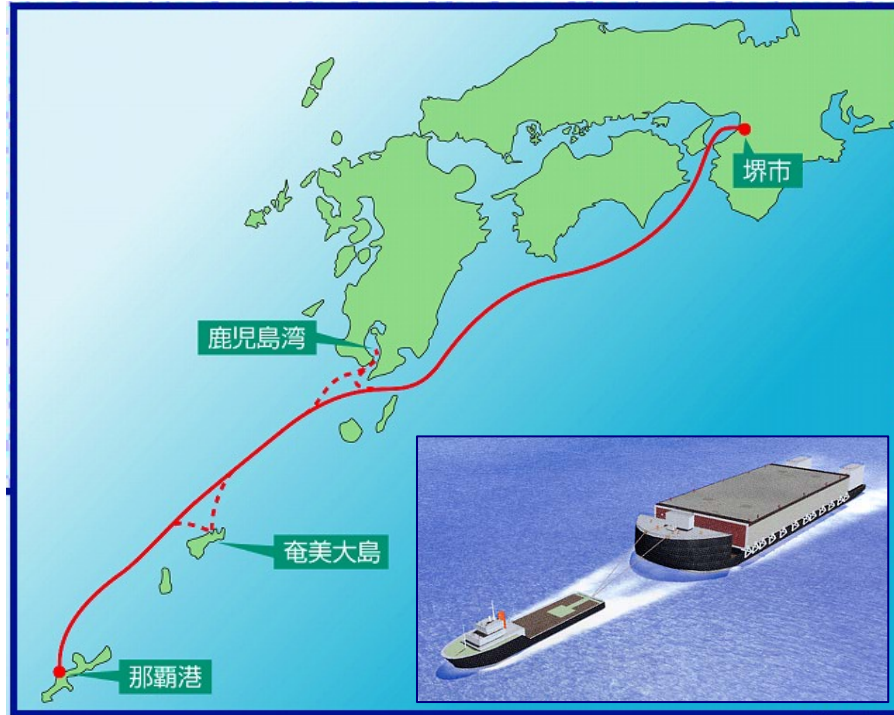
ドックよりの引き出し状況



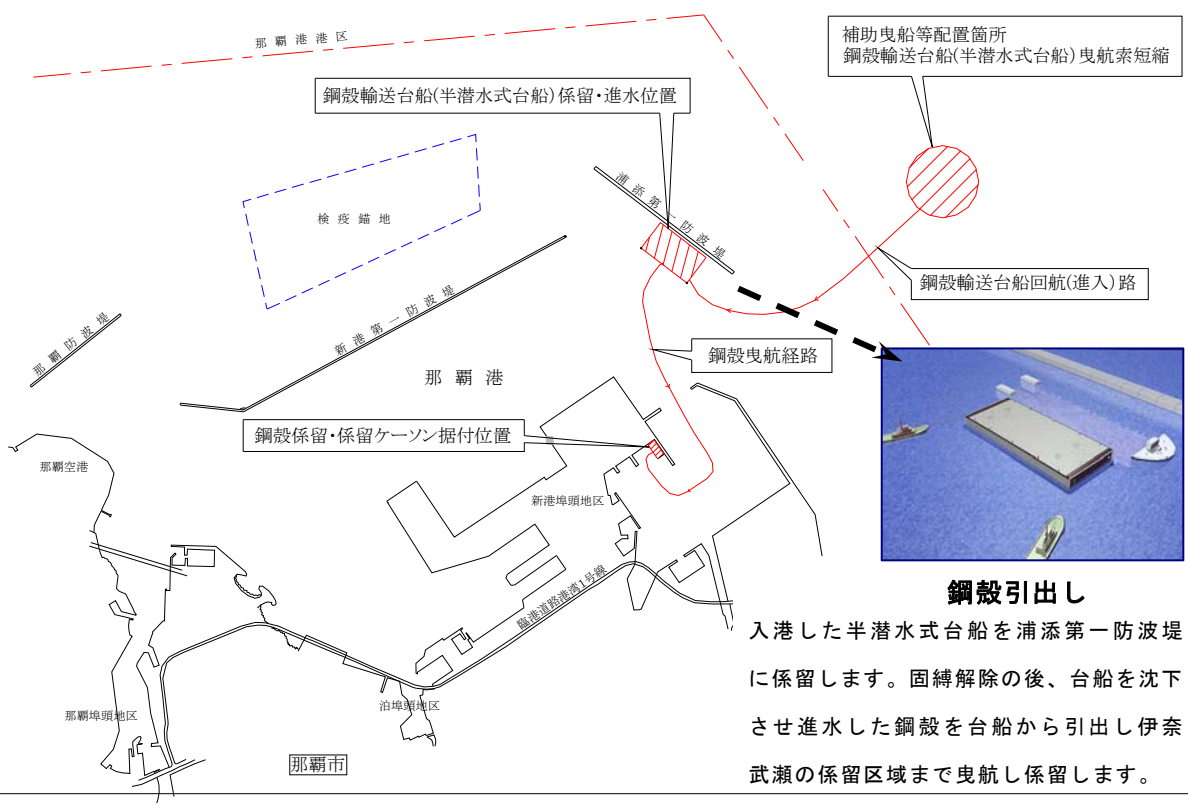
鋼殻積込完了状況

**回航工 回航 【図-6】**

- 鋼殻を搭載した半潜水式台船は4月30日に堺を出航予定、那覇港沖へ到着する時期につきましては5月5日早朝を予定しています。なお、回航中の避難港としては鹿児島湾および奄美大島を設定しています。



**回航工 進水・曳航・係留 【図-7】**



### 本体コンクリート工 【図-8】

- ・伊奈武瀬係留ヤードにおいて、棧橋とケーソンに係留した浮遊状態の沈埋函鋼殻内部にコンクリートを打設します。鋼殻の姿勢バランスを管理しながら約 10,000m<sup>3</sup> の高流動コンクリートを打設します。(施工期間：平成 20 年 5 月～平成 20 年 9 月予定)



### 沈埋函沈設仮置き 【図-9】

- ・完成した沈埋函のバラストタンクに注水し、係留棧橋前面の仮置マウンドに着座仮置きします。  
(仮置時期：平成 20 年 9 月予定)

- ・海底に仮置きされた沈埋函は、沈埋トンネルとして本沈設される時期まで仮置します。



なお、作業日程等につきましては気象・海象条件により変更する場合があります。  
詳細な日程は那覇港湾・空港整備事務所のホームページ若しくは下記に問い合わせ願います。

那覇港湾・空港整備事務所ホームページアドレス

<http://www.dc.ogb.go.jp/nahakou/>

問い合わせ：那覇港湾・空港整備事務所

第三工事課（三重城出張所）

担当：吉平(ヨシヒラ)、宮城(ミヤギ)、楠田(クスダ)

T e l 0 9 8 - 8 6 0 - 6 0 2 3

F a x 0 9 8 - 8 6 0 - 6 0 2 4